

平成30年度愛媛県高等学校長協会総会 教育長祝辞

平成30年4月20日(金)
にぎたつ会館 芙蓉の間

本日は、平成30年度愛媛県高等学校長協会の総会並びに研究協議会の開催、誠にありがとうございます。皆様方には、地域から愛され信頼される学校づくりに努めていただいておりますことに対し、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

さて、御案内のとおり、今年3月に告示された次期高等学校学習指導要領では、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、必要な学習内容、資質・能力を明確にしなが、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、「社会に開かれた教育課程」が目指すべき理念として位置付けられています。

本県では、既に、各学校において、地域社会の活性化と結び付けた学校の魅力化や、地域の要望に応える形での新コースの設置など、地方創生の視点に立った取組を進めていただいているところです。皆様方には、引き続き、自校の魅力化について研究を進めていただきますとともに、ふるさと愛媛への愛着をもち、将来、愛媛に定着する人材の育成に尽力いただきますよう、お願いいたします。

ところで、今回の学習指導要領改訂は、2030年の社会を見据えた改訂であると言われています。2030年社会については、人工知能に人間の仕事が取って代わられるなど、様々な大きな変化が待っていると指摘されています。しかし、そのような時代が来ようとも、私は、人を育てるとい教師の仕事は、人間の仕事であり続けるものと考えています。人との対話、自然との対話、自分との対話を通して、人間ならではの感性や創造力を育み、生徒たちを心おどる学び合いの旅に誘うことは、人工知能では難しいと思います。なぜなら、人工知能は、徹頭徹尾数学でできあがっていて、論理と確率と統計にのみ依存しているからです。

皆様方には、そうした教育の実現に向け、今後とも、それぞれがお持ちの高邁な教育理念のもと、優れたリーダーシップを発揮され、教職員を導いていただくことを期待しております。

結びに、本総会の御盛会と校長協会の益々の御発展、皆様方の御健勝・御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。